

ISO/IEC/JIS Plastics

事務局便り 2012年1月

ISO/TC 61/ SC5(物理・化学的性質)分野での日本の貢献

ISO/TC61/SC5 はプラスチックの物理・化学的性質に関するプラスチック共通の試験方法に関する規格の制定・改正を担当しており、80 の担当する ISO 規格が発行されている (Corrigendum; 10 を含む、2011年11月15日時点、以下同)。

ISO/TC61(プラスチック)は、SC5を含む10のSCで構成され、625規格を発行している(Amendment, Corrigendum を含む)。SC別の発行規格数は、SC9(熱可塑性プラスチック): 118、SC11(プラスチック製品): 91、SC12(熱硬化性プラスチック): 86、SC13(複合材および強化繊維): 85、SC5: 80、SC2(機械的性質): 68、SC6(老化、耐薬品性、耐環境性): 32、SC4(燃焼挙動): 27、SC1(用語): 7及びTC61直属: 6の順で、SC5の規格数は、プラスチック共通の試験方法(SC2~SC6)の中では最多である。

TC61/SC5の国際議長はスイスが、国際幹事は、2011年から、ドイツ(DIN)が担当している。本稿では、TC61/SC5の規格開発に日本が、提案及びプロジェクトリーダーとして関与した規格数の視点から、日本の貢献を記す。

1. SC5の規格開発に於ける日本の貢献

Corrigendumを除くSC5の発行70規格の内、日本が関与した規格は20にのぼる。現在、登録済み開発中テーマ16件中13件とテーマ登録準備中8件中3件に日本は関与しており、SC5の規格開発に於ける日本の寄与・貢献は多大である。

2. SC5作業部会(WG)の構成

現在SC5で活動中の作業部会(WG)の分野は7つある。作業部会の分野名とコンベナー担当国を次に記す；

熱特性(WG8:独)、レオロジー(WG9:英)、粘度(WG5:独)、分析手法(WG11:蘭)、試験方法の品質と精度(WG21:伊)、生分解性プラスチック(WG22:日)、バイオベースプラスチック(WG23:米)

WG5は、活動休止はしていないが、WG9の中で活動中、また、活動休止中の光学的性質(WG1)は、WG11の中で活動している。

WG22は、1993年に開設以来、日本がコンベナー(澤田 秀雄氏)を担当し、長年に渡る顕著な貢献に対し、2010年9月にTC61より表彰された。

WG23は、WG22案件として日本提案でテーマ成立した案件を検討するべく、2011年に設立した。

3.各作業部会での日本の貢献

各作業部会担当の発行済み規格数/開発中テーマ数/テーマ登録準備中件数と日本の関与件数を以下に記す；

a) 熱特性(WG8)

発行済み規格数 : 18 (内、日本関与 : 6)
開発中テーマ数 : 1 (内、日本関与 : 1)
テーマ登録準備中 : 5 (内、日本関与 : 1)

b) レオロジー(WG9)&粘度(WG5)

発行済み規格数 : 9 (内、日本関与 : 1)
開発中テーマ数 : 3 (内、日本関与 : 3)
テーマ登録準備中 : 1 (内、日本関与 : 0)

c) 分析手法(WG11)

発行済み規格数 : 26 (内、日本関与 : 7)
開発中テーマ数 : 6 (内、日本関与 : 6)
テーマ登録準備中 : 0 (内、日本関与 : 0)

d) 生分解性プラスチック(WG22)

発行済み規格数 : 10 (内、日本関与 : 3)
開発中テーマ数 : 5 (内、日本関与 : 2)
テーマ登録準備中 : 0 (内、日本関与 : 0)

e) バイオベースプラスチック(WG23)

発行済み規格数 : 0 (内、日本関与 : 0)
開発中テーマ数 : 1 (内、日本関与 : 1)
テーマ登録準備中 : 0 (内、日本関与 : 0)

f) 光学的性質(WG1)

発行済み規格数 : 4 (内、日本関与 : 3)
開発中テーマ数 : 0 (内、日本関与 : 0)
テーマ登録準備中 : 2 (内、日本関与 : 2)

複数の開発中テーマが登録時、日本がコンベンナーを担当し、活動休止中 WG1 の活動を復活させる予定。

g) 試験方法の品質と精度(WG21)、他

発行済み規格数 : 3 (内、日本関与 : 0)
開発中テーマ数 : 0 (内、日本関与 : 0)
テーマ登録準備中 : 0 (内、日本関与 : 0)

以上